

# 抗ウイルス活性試験データ

**いま問題となっている3つのウイルスに対して  
 高い抗ウイルス活性を示しました。**

試験ウイルス	抗ウイルス活性値【Mv】	
新型コロナウイルス（デルタ株）	<b>≥4.3</b>	
鳥インフルエンザ（H5N3型）	<b>5.5</b>	
インフルエンザA型（H1N1型）	<b>&gt;2.8</b>	
ISO 18184附属書G（参考）	$3.0 > Mv \geq 2.0$	小さい効果
	$Mv \geq 3.0$	十分な効果

Mv値：対照区のウイルス感染価（対数值）との差。

# 抗ウイルス活性試験データ

## 【新型コロナウイルス（デルタ株）】

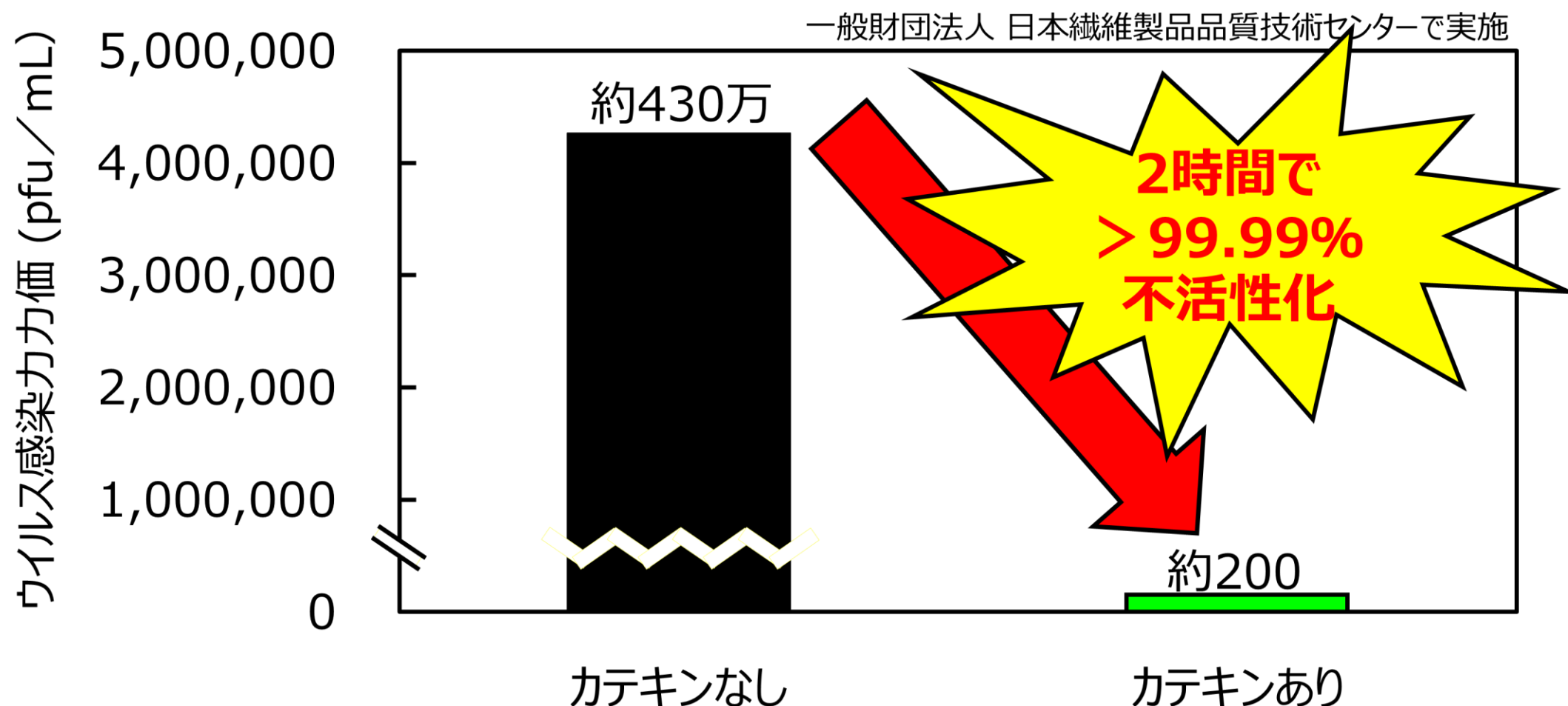


図1 抗新型コロナウイルス（デルタ株）活性試験

表1. カテキン塗布紙の抗新型コロナウイルス活性試験（一般財団法人 日本繊維製品品質技術センターで実施）.  
 試験方法：JIS L1922「繊維製品の抗ウイルス性試験方法」準用.  
 試験ウイルス：SARS-CoV-2 変異株（デルタ株）；hCoV-19/Japan/TY11-927-P1/2021.

試料		ウイルス感染価(PFU/vial) <sup>注1</sup>			減少値【M】 <sup>注2</sup>	抗ウイルス活性値【Mv】 <sup>注3</sup>
		常用対数値		常用対数値 平均値		
対照区	接種直後 【log(Va)】	n1	6.63		6.63	0.8
		n2	6.49			
		n3	6.78			
	2時間作用後 【log(Vb)】	n1	5.79	5.85		
		n2	5.90			
		n3	5.85			
カテキン塗布紙	2時間作用後 【log(Vc)】	n1	<2.30	<2.30	-	≥4.3
		n2	<2.30			
		n3	<2.30			

(注1) PFU: plaque forming units.

(注2) 減少値【M】= log(Va) - log(Vb)（試験成立条件：減少値【M】≤ 1.0）.

(注3) 抗ウイルス活性値【Mv】= log(Va) - log(Vc). 抗ウイルス活性基準値 ≥ 2.

## 【鳥インフルエンザウイルス】

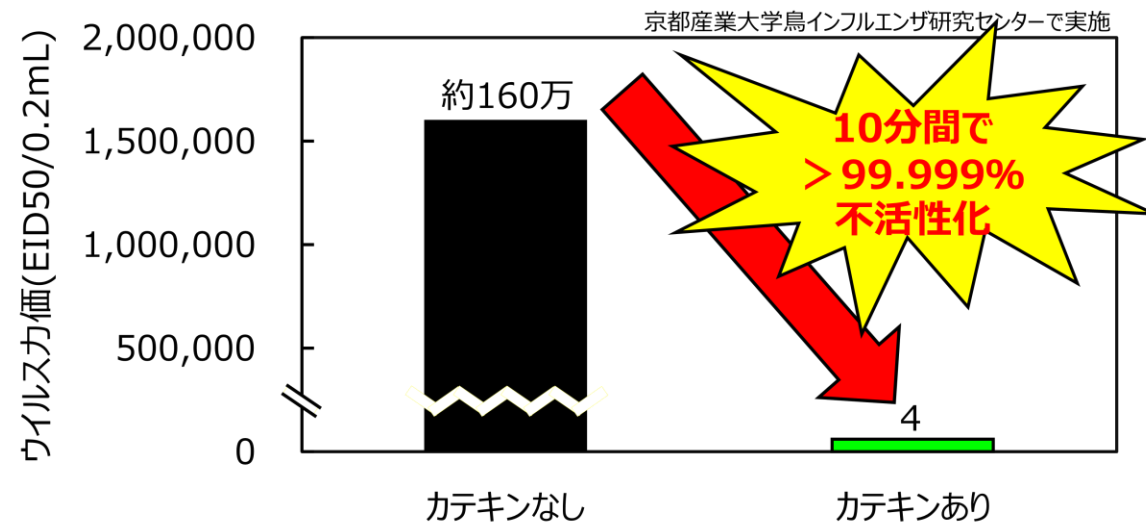


図2 抗鳥インフルエンザウイルス活性試験

表2. カテキン塗布紙の抗鳥インフルエンザ活性試験（京都産業大学鳥インフルエンザ研究センターで実施）。  
 試験ウイルス：鳥インフルエンザウイルス（H5N3株）

試料	ウイルスカ価(logEID50/0.2mL)			抗ウイルス活性値【Mv】 <sup>注3</sup>
	常用対数値		平均値	
対照区	n1	5.75	6.05	-
	n2	5.75		
	n3	5.75		
	n4	6.50		
	n5	6.50		
カテキン塗布紙	n1	<0.5	0.58	5.5
	n2	<0.5		
	n3	0.75		
	n4	nt		
	n5	nt		

## 【インフルエンザウイルスA型】

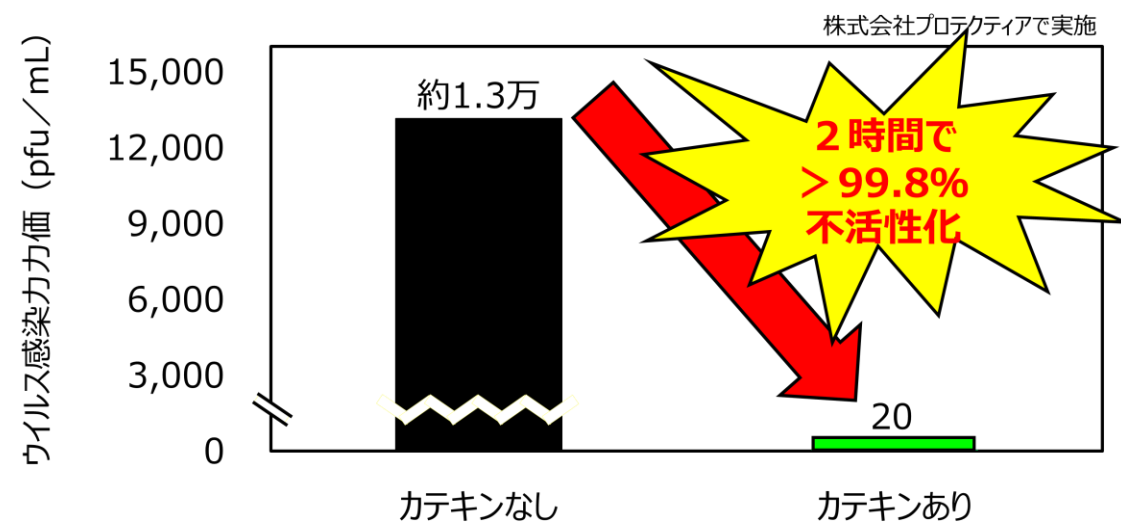


図3 抗インフルエンザウイルスA型活性試験

表4. カテキン塗布紙の抗インフルエンザウイルス活性試験（株式会社プロテクトリアで実施）。  
 試験ウイルス：インフルエンザウイルスA型（H1N1型）

試料	ウイルスカ価(logEID50/0.2mL)			抗ウイルス活性値【Mv】 <sup>注3</sup>
	常用対数値		平均値	
対照区	n1	4.09	4.12	-
	n2	4.14		
カテキン塗布紙	n1	<20	<1.30	>2.8
	n2	<20		